

平成23年11月15日（火）

国土交通省 関東地方整備局

首都国道事務所

記者発表資料

国道357号 東京湾岸道路（東京都区間）新木場地区整備事業



12月18日（日）から新木場交差点の運用が変わります。

- 現在整備中の東京ゲートブリッジを含む東京港臨海道路Ⅱ期が開通しますと、接続する新木場・若洲線の交通量増加が見込まれます。

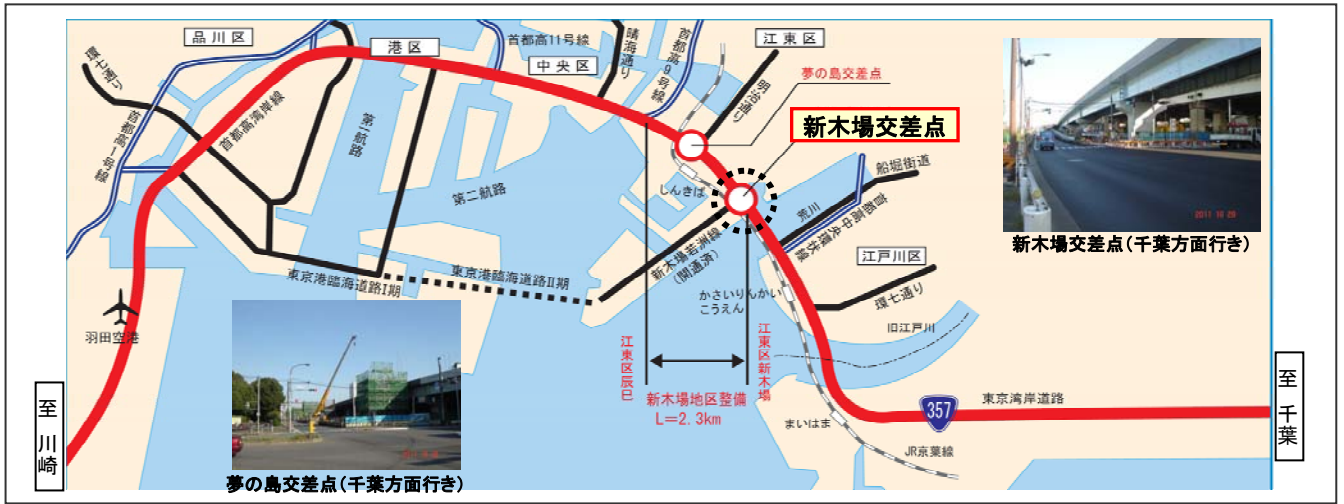
このたび、新木場交差点の右左折車線を増やすための改良工事が完了し、新木場交差点の運用が変わりますので、お知らせします。

- ◆ 完了日時 平成23年12月18日（日） 9時頃より
- ◆ 場 所 新木場交差点（江東区新木場1丁目地先）

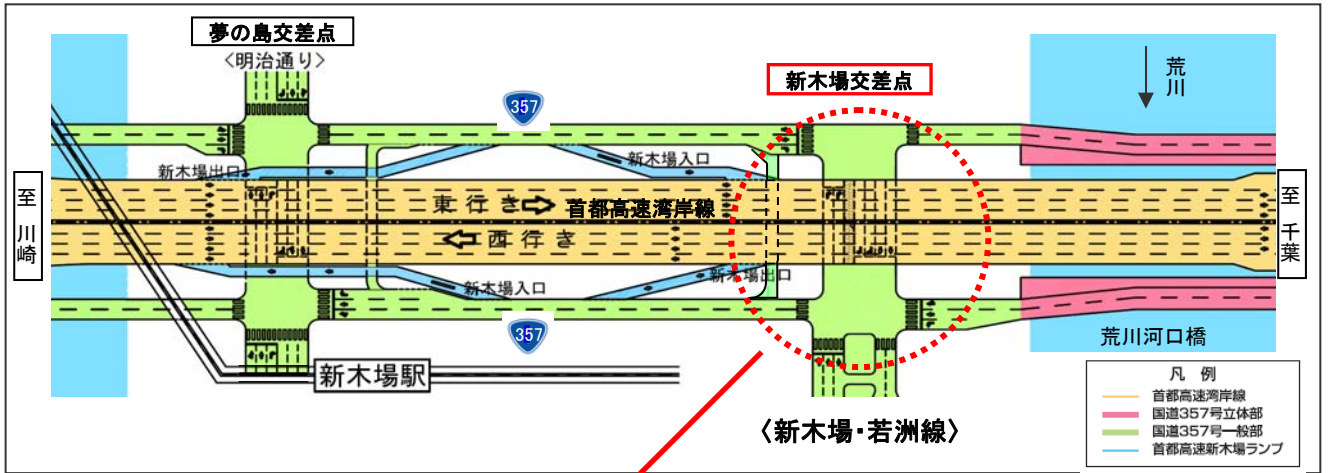
- 引き続き、連続立体化事業は、平成25年度の開通を目標に進めて参ります。工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願い致します。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・都庁記者クラブ
問い合わせ先
国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所
副所長（地域広報官） 藤田 明（ふじた あきら）
計画課長 石倉 丈士（いしくら たけし）
電話：047-362-4111（代表）

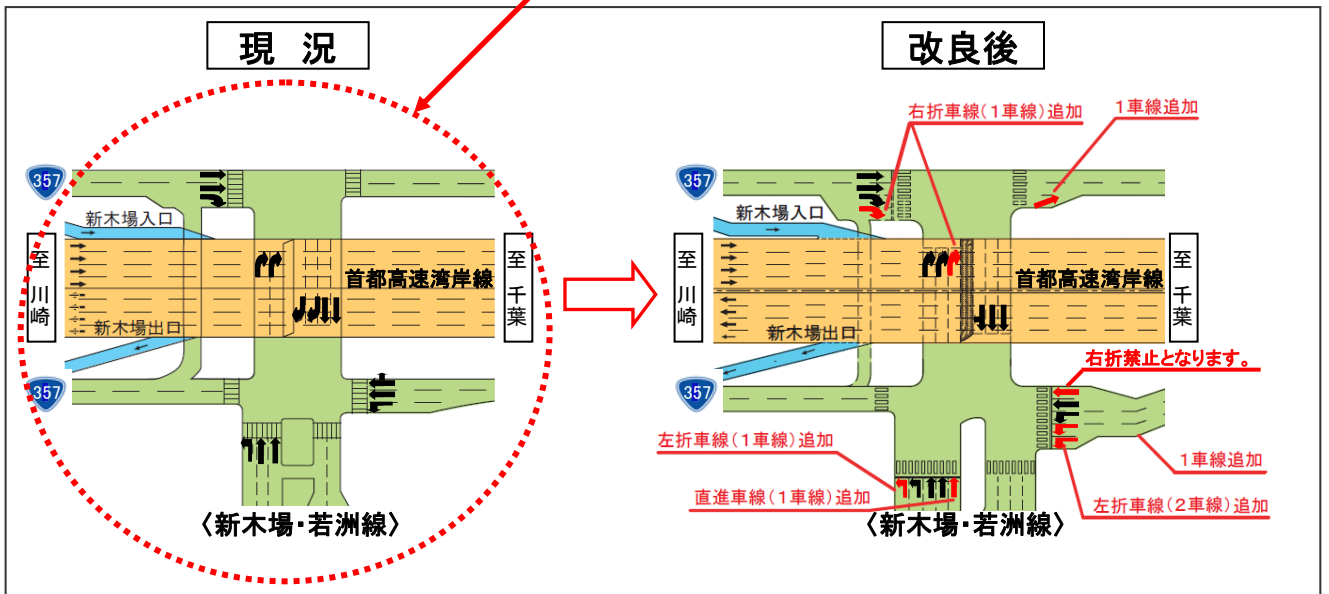
# ○位置図



# ○平面図(現況)



# ○新木場交差点拡大図



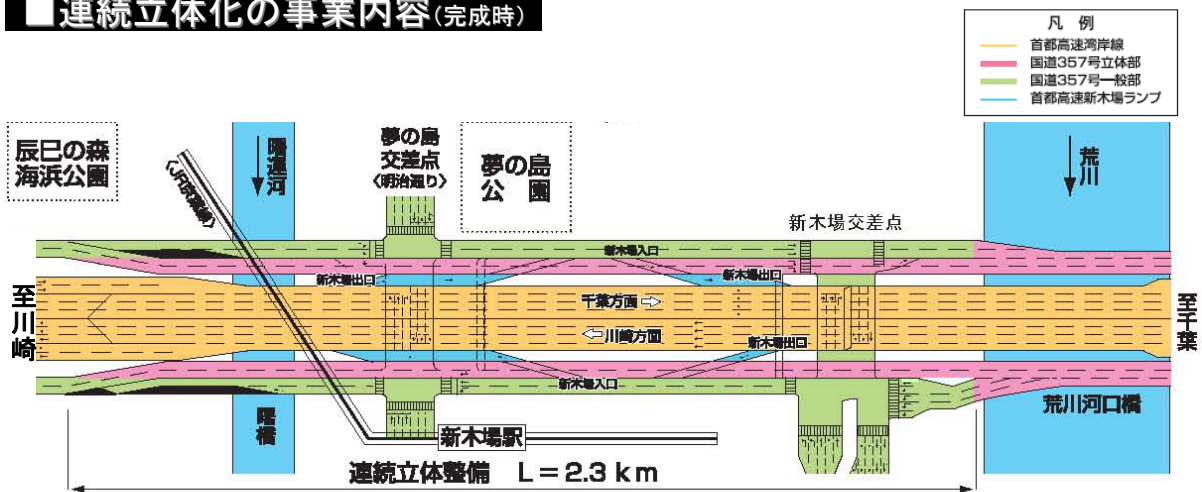
# ○新木場地区周辺渋滞対策について

## ■概要

東京湾岸地域では、国道357号東京湾岸道路及び周辺道路の整備が順次進められています。なかでも新木場地区は、東京港臨海道路Ⅰ期が平成14年に開通し、引き続き、Ⅱ期の整備が進められています。

新木場交差点においては、東京港臨海道路Ⅱ期に接続する新木場・若洲線の交通量増加が見込まれ、隣接の夢の島交差点（主要渋滞ポイント）とともに渋滞対策が急務となっています。これらの渋滞対策として、新木場地区では、交差点改良及び連続立体化の事業が進められています。

## ■連続立体化の事業内容(完成時)



# ○連続立体化(新木場立体) 工事实施状況

●川崎側を望む  
(橋梁下部工 完了 ※一部施工中)

●千葉側を望む  
(橋梁下部工 完了)



新木場ランプ付近



新木場ランプ付近

平成23年10月撮影